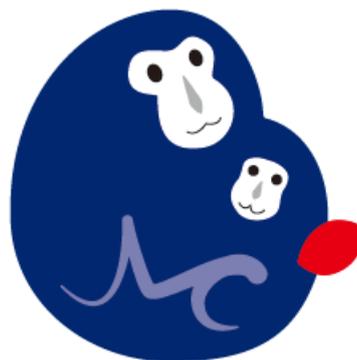


## F A X 送付状

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 3枚

送信日 2018年10月11日



JAPAN MONKEY CENTRE

# 10/17(水)動物慰霊祭を執りおこないます

例年、創立記念日には、今まで日本モンキーセンターで亡くなった動物たちに感謝の意を表し、動物慰霊祭を執りおこなっております。今年は、24種46頭の霊長類が亡くなり、計6,645頭を供養します。霊長類以外の亡くなった飼育動物たちも併せて供養いたします。

今年、日本モンキーセンターは62回目の創立記念日を迎えます。この慰霊祭では、飼育担当者はもちろん、学部や事務部のスタッフも全員が順次参列し、手づくりで心のこもった進行を計画しています。一般のみなさまも、果物（バナナを除く）や野菜、栗やどんぐり、樹木の苗木などの「お供えもの」を持ってご参列いただけます。お供えものは後日、飼育している動物たちのために役立てます。お供えもの（リンゴ、ミカン、マンゴー、メロン、パイナップルなど果物類、サツマイモ、葉物、根菜類、栗やどんぐりなどの堅果、動物用の遊具や採食装置※市販の新品のみ、樹木の苗木、など）の受け付けは、10月13日（土）から開始し、慰霊祭の当日の10月17日（水）11時まで行っております。※宅配でも受け付けます。

今年の創立記念日10月17日（水）は、無料解放日になりました。たくさんの方にご参列いただきたく、貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。

## 創立62周年・動物慰霊祭 概要

日時：2018年10月17日（水）11時30分～（雨天決行・テントあり）

場所：ビジターセンター左手奥 動物慰霊碑（猿塚）前

進行：学術副部長 林 美里

プログラム：開祭の挨拶 園長 伊谷原一

所長挨拶 所長 松沢哲郎

飼育員から感謝のことば

飼育技術員 大島悠輝、舟橋昂

11時30分～ 献花、献果

12時 終了

## 資料：今年亡くなった動物たち（一部）

ヒヒの城（当時）担当：大島悠輝 アヌビスヒヒ ナオト（♂）



2018年4月2日永眠。

ナオトの紹介ナオトは1994年6月生まれで、23歳の2018年4月2日にこの世を去りました。ナオトはアヌビスヒヒのオスの中で最年長でした。若い頃は順位が1位だった時期もあり、年をとっても若いヒヒたちに食って掛かる負けず嫌いでプライドの高い性格でした。ガイドの時は「長老」という愛称でお客様にご紹介しており、皆様から「元気で長生きしてね」とたくさんのお言葉を頂きました。最後までスタッフや来園者の皆様から愛されるナオトでした。

◆感謝の言葉読み手紹介 大島悠輝（おおしま ゆうき）23歳 飼育歴4年目

ヒヒの城（アヌビスヒヒ）を中心に、北園を主に担当。ガイドを担当することが多く、リスザルの島（ポリビアリスザル）をはじめクモザルやアヌビスヒヒなどを紹介している。

アジア館担当：舟橋昂 ハヌマンラングール サミー（♂）



2018年7月1日永眠。

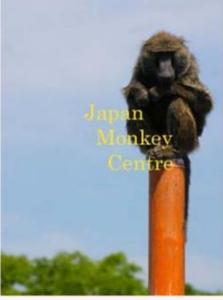
サミーは、2015年に山口県ときわ動物園から来園した日本国内では最後の♂であり、日本モンキーセンターのハヌマンラングールとしても最後の個体でした。サミーは、リーフモンキーとしては珍しく、食べものの好き嫌いが無く、とても食欲旺盛でした。飼育員が部屋の前を通ると、いつも白い大きな体で走り寄って来てくれたため、おやつづくり体験やスポットガイドでは大活躍であり、とても大きな存在でした。最後まで、多くの来園者から大人気の個体でした。

◆感謝の言葉読み手紹介

舟橋昂（ふなはし たかし）27歳 飼育歴2年目

ニホンザルを含んだ、アジアのサルのすんでいるアジア館を担当している。公式ブログ「飼育の部屋」やツイッターを管理するWeb班も担当。

## Webサル図鑑より種名紹介

アヌビスヒビ		ハヌマンラングール	
	英名 Anubis Baboon 学名 <i>Papio anubis</i> CITES II IUCN LC		英名 Hanuman Langur 学名 <i>Semnopithecus entellus</i> CITES I IUCN LC
	分布  サハラ砂漠以南、赤道付近のアフリカに広範囲に分布	分布  インド、スリランカ	会える場所 アジア館
会える場所 ヒビの城	<ul style="list-style-type: none"><li>顔は黒く、体毛はオリーブ色をしている。赤ん坊のうち顔はピンクで体毛は黒い。</li><li>マントヒビとは異なり、複雄複雌の群れをつくる。</li><li>メスは出自集団に残り、オスが群れを移籍する。</li><li>地上四足歩行に適応した四肢形態をしている。歩行時に手のひらを地面につけない。</li><li>雑食性が強く、果実、種子、葉、塊茎、根、昆虫などの他、鳥、は虫類、小型哺乳類なども捕らえて食べる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>全身は灰色っぽい色で、顔と手足が黒い。体毛の色には地域変異がある。</li><li>名前は古代インドの長編叙事詩「ラーマーヤナ」に登場するサルの英雄からついた。</li><li>木の葉や果実を主に食べる。</li><li>胃が3室に分かれ、前胃で嫌気性細菌によってセルロースを分解するようになっている。</li><li>おとなオス1頭と複数のおとなメスとその子どもからなる、ハーレム型の単雄複雌の集団をつくる。</li><li>ハーレムをもたないオスは他の集団のオスを追い出し、群れを乗っ取ろうとする。乗っ取りの際、新しいオスによる子殺しが観察されている。</li></ul>	

## お問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp

担当 : 赤見、江藤、安倍、坂口、田中、荒木、辻内

※その他の イベント情報などは、過去のプレスリリース原稿、

または Web サイトにてご確認ください。 <http://www.j-monkey.jp/event/>